



旭中通信

練馬区立旭丘中学校
学校通信 2月号
令和2年2月3日発行

スキー移動教室を終えて

校長 渡邊 重幸



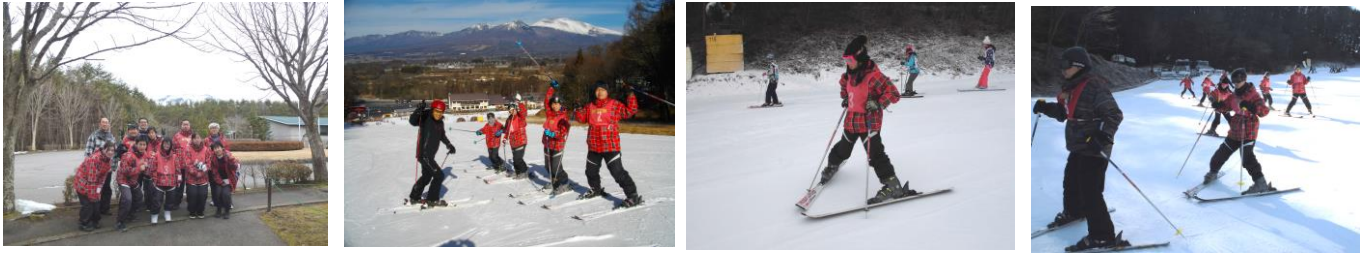
今年は例年になく、雪不足でスキー場も困っているというニュースを何度も目にしました。私自身、ここ数年スキーをしていなかったのが、慣らしておこうと思い、年末に家族で上越国際スキー場へ行ってきました。しかし、雪不足のためスキー場が営業できないと連絡が入り、宿泊場所はそのままだにガーラ湯沢スキー場で滑りました。最終日のみ、前日に雪が降り上越国際スキー場の北斜面で滑って帰ってきました。

本校はD組が1月14日（火）から17日（金）の3泊4日でベルデ軽井沢を宿泊場所として佐久スキーガーデン パラダ（北パラダスキー場）へ行ってきました。光が丘第三中学校、石神井中学校、さらに豊溪中学校（通常級）と4校が一緒にベルデ軽井沢で過ごしました。本校生徒は人数が少ないので、他校の生徒との交流を深める絶好の機会となりました。特に3年生は何度か交流しているので、声をかけたり、手を振ったりとても楽しそうでした。本校のスキー実習は、2班に分かれ、3名に1人インストラクターが付き、さらに私を含め5名の教員が付いたので、マンツーマンのような状態で実習が行われました。1年生は初めて、スキーを体験しました。初日は苦戦したもののスキーバンジー（ボーゲン養成ギブス）を装着し、最終日には自分でリフトを乗り降りし、ハの字で滑れるようになりました。ほとんど人工降雪機の雪でしたが、さすが3年生は苦にもせず、安定した滑りで、プルークターンもできるようになりました。インストラクターの方とも仲良くなり、一緒に歌いながら滑った生徒もいました。

第2学年は次の週の1月20日（月）から23日（木）3泊4日でベルデ武石を宿泊場所としてブランシュたかやまスキーリゾートへ行ってきました。ご存じの方も多いと思いますが、いつもは宿舎から30分ほどの番所ヶ原スキー場に行っていたのですが、昨年の台風19号の影響で使用できなくなり、練馬区教育委員会がすぐに対処し、先のスキー場へ行くことができました。5つの実習班に分かれ実習を行いました。経験している班はすぐにリフトに乗りましたが、初心者の班は坂を登っては滑りを何度も繰り返していました。弱音も吐かず、その努力の甲斐もあって3日目のスタートは、なんと全員が頂上行きのリフトに乗り、展望台で写真を撮った後、4000メートルのクロスコースを滑ってきました。

私はスキー実習でいつも思うことは、これほど達成感を味わえるスポーツはないのではないかと思います。3年生に面接練習をした際に3年間で一番心に残っていることを尋ねると、このスキー移動教室と答える生徒が少なくありません。たった3日間で、自分の技量で頂上から滑ってくるのですから、すごいことだと思います。「努力は人を裏切らない」を体験できる素晴らしい行事です。ぜひ、この経験を今後の学校生活に活かしてもらいたいと思います。

<D組スキー移動教室(北パラダスキー場)>



<第2学年スキー移動教室(プランシュたかやまスキーリゾート)>



<第36回 練馬区青少年育成桜台地区 かるた会>

1月30日(木)練馬区青少年育成桜台地区委員会主催のかるた会が実施されました。参加者は第1学年、第2学年、D組です。体育館で熱戦が繰り広げられました。個人で優勝したのは、1年生の女子で、64枚も取りました。団体では1位が1B1班、2位がD組1班でした。



<品川区立日野学園研究発表会に参加してきました>

練馬区立小中一貫教育校推進委員会は、今年度4回実施されました。その一環として1月24日(金)に品川区立日野学園が公立学校初の施設一体型一貫校として14年目となりその成果と課題を発表するというので推進委員と事務局で参加してきました。日野学園の統括校長である西島勇先生は私の元同僚で、当日もお忙しい中、説明もしていただきました。大変参考になりました。この場を借りて感謝申し上げます。

今年度は、設計の要件整理を行いました。いよいよ、来年度新校に向け、基本設計が始まります。どのような基本設計になるか、楽しみです。



壁のないオープン教室



5・6・7年生が交流活動



1年生と9年生と一緒に授業



875名が参加(広い体育館)